



# 2019年奄美地区国民平和行進ニュース

2019年6月24日

発行：2019年原水爆禁止奄美地区国民平和行進実行委員会

## 6/22 奄美での平和行進 徳之島からスタート 31名

6/22（土）奄美での原水爆禁止国民平和行進が始まりました。スタートを切ったのは徳之島地区のみなさん。集会ではDVD鑑賞や昨年原水爆禁止世界大会参加者の報告などを行いました。行進時間になると、それまで降り続いていた雨がいったん小康状態に。診療所から亀徳港まで核兵器廃絶を訴えて歩きました。

港では沖縄～長崎コースの通し行進者米山さんと合流し、平和な日本をつくるためともに頑張ることを誓い合いました。



## 6/23 奄美地区国民平和行進 笠利・竜郷コース 30名

6/23（日）笠利・龍郷コースは大雨の中で開催することも躊躇しましたが、せめて出発集会だけでもやろうとの思いから笠利の赤木名へ集合。冷たい雨が降る中ではありましたが30名が参加しました。

今回の平和行進には、2名の通し行進者が参加。沖縄～長崎コースの米山幸子さん（78歳）は、「私の住む横須賀には原子力空母が配備され毎日不安な生活を送っている。悲惨な戦争の反省の上にできた日本国憲法を守り、核のない平和な未来を子どもたちに手渡すために歩いています。」と語りました。

県内通し行進者の田中春美さん（66歳）は、「子どもたちと一緒に田植えをしています。この子どもたちを見ると、この子どもたちの未来が、戦争もない、核もない、平和な世界であり続けるよう訴えて歩きたい。」と決意を込めました。

集会終了後、雨が小康状態になったところで、赤木名集落を行進しました。途中、奄美医療生協笠利支部の組合員さんも合流。本来なら一緒に集会に参加し、一緒に町内を歩き、そしてお茶の準備をして待ってくださる予定でしたが、今回は大雨ということもありご遠慮いただいていた。それでも、宣伝カーの音につられるように傘をさし行進に参加され、行進団一同大いに励まされました。

雨が一向に止む気配もなく、太陽が丘運動公園でレクリエーション。最後に小倉事務局長の基調報告を全員で確認しこの日の行動を終了しました。残念ながら龍郷町を歩くことはできませんでしたが、その分の思いも込めて、本日の大和・名瀬コース、核もない、基地もない、平和な世界を次の世代に引き継ぐために、一歩でも二歩でもいっしょに歩きましょう



6/24（月）大和・名瀬コース

9：30～大和浜集会

13：45～平松町出発

14：50～奄美中央病院出発集会

18：00～終結集会（御殿浜公園）

6/24（月）瀬戸内コース